

(様式2)


2020年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

I	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III	スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 静岡県 】

学校名【 沼津市立第一小学校 】

1 実践テーマ	Ⅲ 及び V
2 実施対象者 (学年・人数)	【その1】 6年生児童 59名 【その2】 456年生児童 144名 特別支援学級 5名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	【その1】 ブラインドマラソン伴走者の堀内規生さんを講師としてのオンライン学習を通し、障害について理解を深め、「効ある人」をより意識して生活できるようになる。 【その2】 パラ陸上選手の村上清加さんを講師としてのオンライン学習を通し、障害について理解を深め、「効ある人」をより意識して生活できるようになる。
5 取組内容	【その1】 11月11日(水) 5. 6校時 体育館で、リモートによる堀内さんの講話や実技を実施。 ↓体育館の大型投影機を使つての講話 

↓リモートでは挙手により意思を伝達



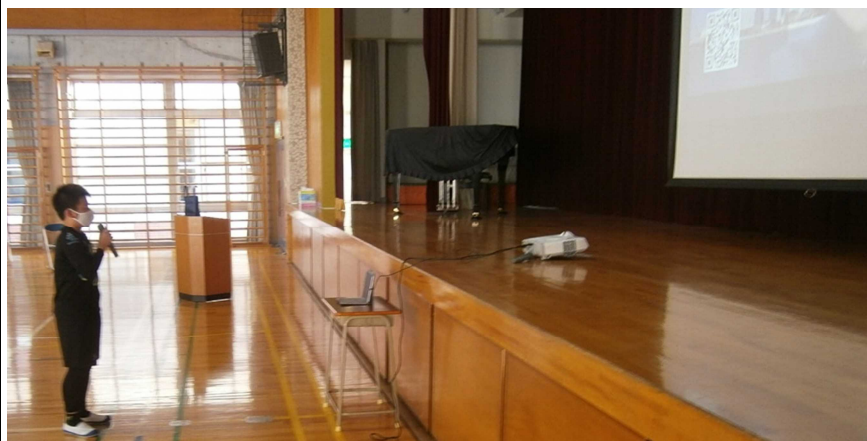
↓早稲田大学岡田先生による説明



↓堀内さんの指導によるアイマスクを使った体験学習



↓リモートで堀内さんに質問



↓本校HPの記事



6年生がリオパラリンピックマラソン銀メダルに輝いた祝賀師団長の伴正をしていらっしゃる堀内規生さんのオンライン講演・実技を行いました。親子の口になること、口の不自由な方が生きることの難しさを実感しました。

【その2】

11月19日（木） 5. 6校時

体育館と視聴覚室、理科室の3会場で、リモートによる村上選手の講話を実施。

↓視聴覚室での事前学習



↓理科室での事前学習



↓体育館でのリモートによる村上選手の講話



↓リモートで村上選手に質問



↓本校HPの記事

オリンピック・パラリンピック教育取組第2弾

オリンピック・パラリンピック教育取組第2弾として、パラリンピックなど世界大会に出場経験があり、今も東京パラリンピック出場を目指して努力されている村上選手とのオンライン学習を受けました。4～6年生の子供たちが3会場に分かれ、村上選手の明るさと前向きさに引き込まれていました。講義後、たくさんの子が喜んで村上選手に質問を投げかけていました。



6 主な成果

昨年度、ボッチャや車いすバスケットボールの代表選手との交流を通し、障害やパラリンピックについて学習した。その経験をもとに、ブラインドマラソン選手のガイドランナーである堀内さんと、パラ陸上の村上選手の講話や実技を通し、障害やパラリンピックへの理解を深めていた。

【その1】

前半は、堀内さんがガイドランナーになるまでの道のりや、ガイドランナーと選手との関係など、新しいことをたくさん知り、児童は一同に驚いていた。後半は、堀内さんの指導のもと、アイマスクを用いて、視界を遮った動きをしたり、目が不自由な人を導く体験をしたりした。全てが児童にとってあまり経験がない、新鮮な学習であった。

<児童の感想>

- ・ガイドランナーやパラリンピックのことがいろいろ知れてよかった。目が見えない人の感覚を体験して少し怖かったが、それでもマラソンをする人はすごいなと思った。(6年女子)
- ・パラリンピックにちょっとしか興味がなかったけれど、改めて興味をもてた。堀内さんの話を聞いて、僕も困っている人を助けたいと思った。(6年男子)
- ・伴走者はただ走るだけだと思ったけれど、生活面でもマラソンでも重要な役割だと感じました。目が見えない体験では人とぶつかってしまったので、伴走はとても重要だと思いました。なによりも、堀内さんと道下選手と一緒に走っているところを見たいなと思いました。(6年女子)

【その2】

約150名の児童が3会場に分かれ、村上選手の話の聞いたり、質問をしたりした。突然足を失う事故から始まったこれまでの道のりや、義足を笑顔で脱着する姿など、村上選手の前向きな生き方を児童は十分に理解していた。

<児童の感想>

- ・暗い気持ちだけではだめだという気持ちを持つところから素晴らしいと思いました。また、仲間といっしょに挑戦したいというところで、一人ではできないことでも周りの人といっしょにやることで、できることがあると知れて良かったです。(6年女子)
- ・自分はあきっぽく、難しくなったら途中であきらめてしまうような人間で、入院中の村上選手のように。それに自分が気付いてもあきらめてしまうのですが、ぼくも村上選手のようにあきらめず、これまでの自分を反省し、大きな目標を持って夢を目指します。(6年男子)
- ・事故から今まで、辛かったこともうれしかったことも全て話してくれて、良い体験になった。義足についてくわしく知れたし、走り幅跳びや100mの記録もすごかった。パラ陸上に興味が出てきた。(6年女子)

	<p>【児童アンケートの結果】（5，6年生） 第1回は10月初旬実施、第2回は11月下旬実施。</p> <p>①パラリンピックに興味がありますか。</p> <table border="1" data-bbox="497 219 1348 436"> <thead> <tr> <th></th> <th>第1回</th> <th>第2回</th> <th>差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とてもそう思う</td> <td>17%</td> <td>27%</td> <td>△10%</td> </tr> <tr> <td>そう思う</td> <td>50%</td> <td>56%</td> <td>△ 6%</td> </tr> <tr> <td>あまりそう思わない</td> <td>28%</td> <td>15%</td> <td>▼13%</td> </tr> <tr> <td>そう思わない</td> <td>5%</td> <td>2%</td> <td>▼ 3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>②将来、パラリンピックにボランティアや応援などで参加したいですか。</p> <table border="1" data-bbox="497 542 1348 759"> <thead> <tr> <th></th> <th>第1回</th> <th>第2回</th> <th>差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とてもそう思う</td> <td>19%</td> <td>23%</td> <td>△ 4%</td> </tr> <tr> <td>そう思う</td> <td>34%</td> <td>38%</td> <td>△ 4%</td> </tr> <tr> <td>あまりそう思わない</td> <td>35%</td> <td>36%</td> <td>△ 1%</td> </tr> <tr> <td>そう思わない</td> <td>12%</td> <td>3%</td> <td>▼ 9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>①の結果から、リモートでの交流を通してパラリンピックへの興味や関心が高くなったと考えられる。②の結果から、今回の学習を通してパラリンピックへの理解が深まったと考えられる。</p>		第1回	第2回	差	とてもそう思う	17%	27%	△10%	そう思う	50%	56%	△ 6%	あまりそう思わない	28%	15%	▼13%	そう思わない	5%	2%	▼ 3%		第1回	第2回	差	とてもそう思う	19%	23%	△ 4%	そう思う	34%	38%	△ 4%	あまりそう思わない	35%	36%	△ 1%	そう思わない	12%	3%	▼ 9%
	第1回	第2回	差																																						
とてもそう思う	17%	27%	△10%																																						
そう思う	50%	56%	△ 6%																																						
あまりそう思わない	28%	15%	▼13%																																						
そう思わない	5%	2%	▼ 3%																																						
	第1回	第2回	差																																						
とてもそう思う	19%	23%	△ 4%																																						
そう思う	34%	38%	△ 4%																																						
あまりそう思わない	35%	36%	△ 1%																																						
そう思わない	12%	3%	▼ 9%																																						
7実践において工夫した点（事業の特色）	<p>コロナ禍の影響があり、オンライン学習を実践した。</p> <p>昨年までの学習を生かすため、早稲田大学の岡田先生にご協力いただき、児童の実態に合った講師の人選に時間をかけた。その結果、学習効果が上がり、児童の意識向上につながった。</p> <p>GIGA スクール構想による設備工事が途中だったので、体育館を中心に会場を設定した。リモートがスムーズに実施できるよう、情報機器の設営に細心の注意を払った。</p> <p>事前に報道投げ込みを実施したところ、静岡新聞と地元紙（沼津朝日）に掲載された。特に、沼津朝日には一面で特集を組んでいただき、取り組みのアピールができた。</p>																																								
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> •GIGA スクール構想による設備工事が整い、無線接続可能な大型提示機が各教室に配備されると、オンライン学習がよりスムーズに進むと思われる。 •昨年度に引き続き、早稲田大学の岡田先生に多大なるご支援をいただき、計画的に活動できた。他校が本校と同じ実践をしようとすると、講師探しを含め難しいかもしれない。 •コロナ禍で授業時間が減った中での計画だったので、各教科や総合的な学習の時間の他の題材とのバランスに気を配った。 																																								
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> •オリパラ教育実施校としての取り組みを継続する予定。 •コロナ禍による影響を考え、リモート等ICTによる学習が主になるとと思われる。 •静岡県や沼津市等地元からの要請には可能な限り応じ、児童の学習をよりよいものにしていきたい。 																																								